



測量CADシステム [マーキュリーワン Ver.5]

セットアップガイド

新規導入編

Mercury-ONE を新規にセットアップする手順を解説します。

はじめての簡単セットアップ	2
ネット認証(占有) + スタンドアロン	3
セットアップガイド	
(「はじめての簡単セットアップ」以外の方法)	9
1. プロテクトを確認します	10
2. インストール方法を決めます	11
3. 「スタンドアロン」の 新規インストール手順	12
4. 「サーバークライアント (共同編集あり)」の 新規インストール手順	20
5. 「サーバークライアント (共同編集なし)」の 新規インストール手順	32
[補足1] ネット認証(LAN) のセットアップ手順	42
[補足2] SNS-LAN-X のセットアップ手順	44
セットアップ Q&A	47



Check

セットアップの前に確認してください

- セットアップするには、「コンピューターの管理者 (Administrators)」のアカウントでサインイン (ログオン) している必要があります。
- セットアップやアンインストールをおこなう場合は、必要なデータは必ずバックアップしてください。
お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体 (HDD、CD、DVD など) に保存してください。
また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。
- お使いのセキュリティソフトによっては、正常にセットアップされない場合があります。
正常にセットアップされない場合は、一時的にセキュリティソフトを終了してから、セットアップをおこなってください。

はじめての簡単セットアップ

はじめての簡単セットアップでは、Mercury-ONE を

プロテクトタイプ： ネット認証ライセンス(占有)

+

インストール方法： スタンドアロン

でセットアップする手順を解説します。

次ページへ

その他のプロテクトタイプ または その他のインストール方法 でセットアップする場合は、下記内容をご確認の上、P.9 からの「セットアップガイド」を参照してセットアップをおこなってください。

プロテクトタイプの確認方法

プロテクトタイプは、同梱の「お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書」に記載されています。

プロテクトタイプには、

ネット認証(占有) ネット認証(共有) ネット認証(LAN)

USB プロテクト【SNS-W】【SNS-LAN-X】

があります。

お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書

出荷プロテクト ○○○○

インストール方法:スタンドアロンとは

インストール方法の「スタンドアロン」とは、

- すべてのファイルを1台のコンピューターにインストールする
- 1台のコンピューターで現場データを編集する

という場合のインストール方法です。

その他のインストール方法として、現場データや設定ファイルをサーバーで管理する

サーバークライアント(共同編集あり) サーバークライアント(共同編集なし)

があります。

すべての作業を1台のコンピューターで。



その他のプロテクトタイプ、その他のインストール方法 のセットアップ手順は

その他のプロテクトタイプの場合

ネット認証(LAN) ネット認証(共有) USB プロテクト【SNS-W】【SNS-LAN-X】

または、その他のインストール方法の場合

サーバークライアント(共同編集あり) サーバークライアント(共同編集なし)

のセットアップ手順については、P.9 からの「セットアップガイド」を参照してください。

P.9へ

ネット認証(占有) + スタンドアロン

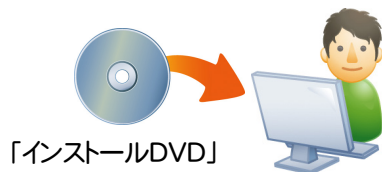
「Step1 | Mercury-ONE のインストール」

「Step2 | BEST FAQ のインストール」

「Step3 | プロダクトID認証と、FCアカウントの登録」の順でセットアップをおこないます。

Step1 | Mercury-ONE のインストール

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の [Mercury-ONE] ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

[スタンドアロン] タブを選択します。



- ① [Mercury-ONE] ボタンを押します。



3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



(次ページへ続きます)

[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）、インストール先フォルダーを確認します。必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



必ず確認してください。

時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

プロテクトを確認してください

プロテクトが「ネット認証ライセンス(占有)」になっていることを確認してください。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する]ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。プログラムのインストールが開始されます。



USBタイプのプロテクト装置は接続しないでください

USBタイプのプロテクト装置がパソコンに接続されている場合は、外してください。

他社のプロテクト装置も外してください。

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

(次ページへ続きます)

確認を終えたら、[閉じる]を押します。
再起動が必要な場合は、再起動してください。



再起動後に「FCアカウント」の画面が表示された場合は

FCアカウントの登録は、プログラムの初回起動後におこないます。

ここではまだ何もしないで、次ページの手順に進んでください。



(「Step2」へ進みます)

Step2 | BEST FAQ のインストール

※ 次の手順は、保守サポートサービス「FCM-MUGQ」をご契約のお客様のみ、おこなってください。

「BEST FAQ」のインストールDVDは、「FCM-MUGQ」をご契約のお客様にお送りしています。

1. コンピューターに、「BEST FAQ」のインストールDVDをセットします。



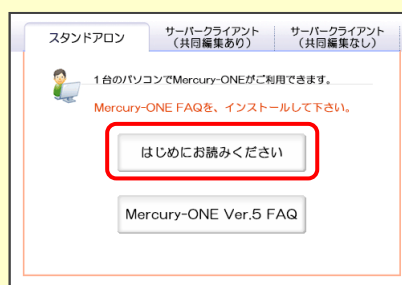
2. セットアップ画面の[スタンドアロン]を選択します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

「はじめにお読みください」を確認して下さい

「はじめにお読みください」では、BEST FAQのインストール手順などを確認することができます。

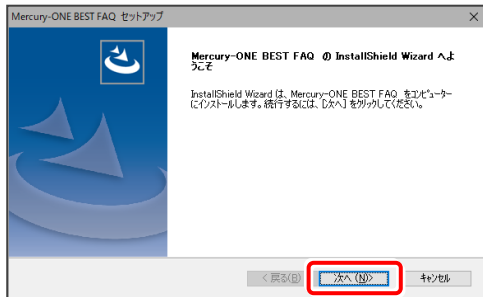
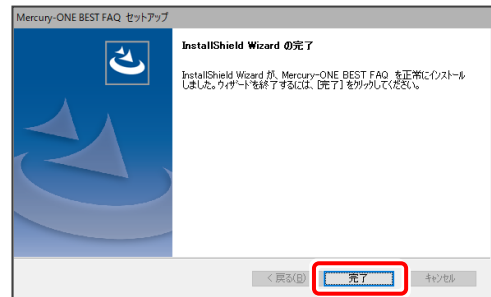
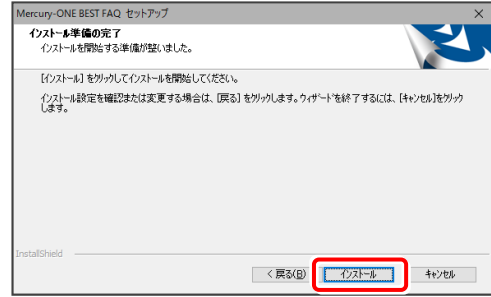


(次ページへ続きます)

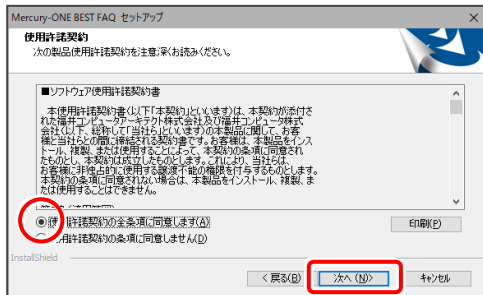
3. [Mercury-ONE FAQ] ボタンを押します。



4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページ「Step3」へ進みます)

Step3 | プロダクトID認証と、FCアカウントの登録

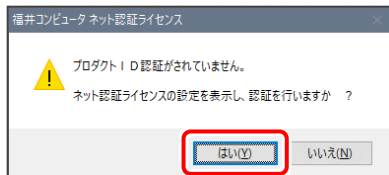
プログラムを起動して、ネット認証ライセンスの「プロダクトIDの認証」と「FCアカウントの登録」をおこないます。

※ インターネットに接続されている必要があります。

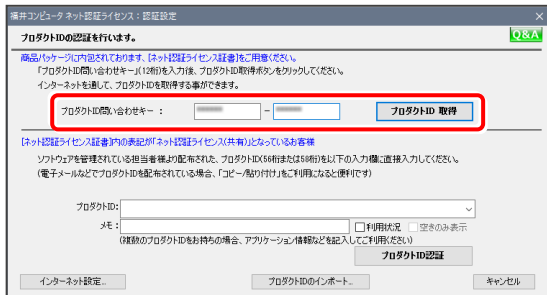
1. デスクトップの[Mercury-ONE]のアイコンをダブルクリックして起動します。



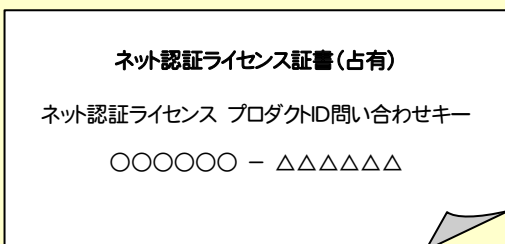
2. [はい]を押します。



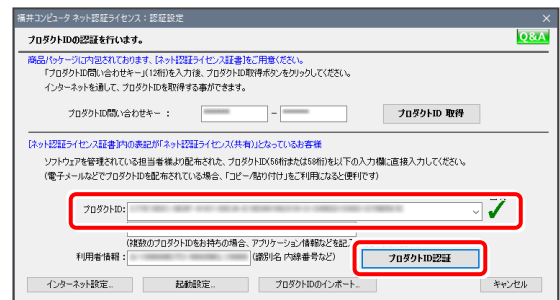
3. [プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。



[プロダクトID問い合わせキー]は6桁+6桁で、送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



4. [プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。



5. 「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。

お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。



自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- ・複数人でライセンスを使用する場合。
- ・他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- ・商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。

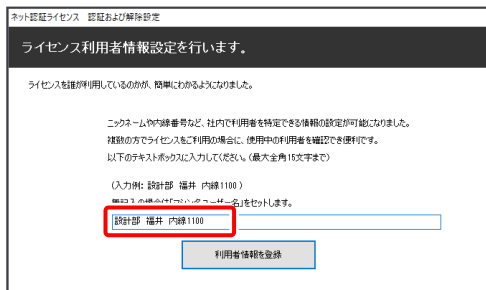


(次ページへ続きます)

6. 選択を終えたら、[OK] ボタンを押します。

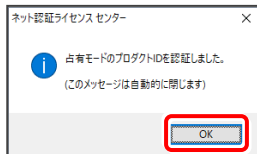


7. 利用者情報を入力して登録してください。



[利用者情報] は、プロダクトIDの利用状況 (誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等)を確認する際に利用されます。
内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。

8. ネット認証ライセンス(占有)のプロダクトIDが認証されます。



9. プログラムが起動されます。

FCアカウントの新規アカウント作成画面が表示された場合は、右の手順で登録してください。

FC アカウントの登録について

FC アカウントを登録していただくと、最新版プログラムの取得、保守契約特典、ライセンス管理等、様々なサービスがご利用いただけます。

※ FC アカウントのご利用には、インターネットに接続できる環境が必要です。

まだ FC アカウントを登録していない場合は

[次のステップへ]をクリックします。

「メールアドレス」や「パスワード」などを登録して、FC アカウントを新規作成します。



すでに FC アカウントを登録済みの場合は

他商品などで FC アカウントを登録済みの場合は、[すでに FC アカウントをお持ちの場合はログインへ]をクリックします。

登録済みの「メールアドレス」と「パスワード」を入力して、ログインします。



以上で Mercury-ONE の簡単セットアップは **完了** です。

セットアップガイド

(「はじめての簡単セットアップ」以外の方法)

まず「プロテクトタイプ」

- ・ ネット認証ライセンス(占有)
- ・ ネット認証ライセンス(共有)
- ・ ネット認証ライセンス(LAN)
- ・ USBプロテクト【SNS-W】
- ・ USBプロテクト【SNS-LAN-X】

を確認します。次に「インストール方法」

- ・ スタンドアロン
- ・ サーバークライアント (共同編集あり)
- ・ サーバークライアント (共同編集なし)

を選択して、Mercury-ONE をセットアップします。

※ ネット認証ライセンス(占有) + スタンドアロン
で使用する場合は、
P.2 「はじめての簡単セットアップ」
の手順でセットアップしてください。



Check

セットアップの前に確認してください

- ・ セットアップするには、「コンピューターの管理者 (Administrators)」のアカウントでサインイン (ログオン) している必要があります。
- ・ セットアップやアンインストールをおこなう場合は、必要なデータは必ずバックアップしてください。
お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体 (HDD、CD、DVD など) に保存してください。
また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。
- ・ お使いのセキュリティソフトによっては、正常にセットアップされない場合があります。
正常にセットアップされない場合は、一時的にセキュリティソフトを終了してから、セットアップをおこなってください。

1. プロテクトタイプを確認します

Mercury-ONE のプロテクトタイプには、

- ネット認証ライセンス(占有)
- ネット認証ライセンス(共有)
- ネット認証ライセンス(LAN)
- USBプロテクト【SNS-W】
- USBプロテクト【SNS-LAN-X】

があります。

ご購入されたプロテクトタイプを確認してください。

※ プロテクトタイプは、「お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書」にも記載されていますので、ご確認ください

お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書

出荷プロテクト ○○○○

プロテクトタイプ

ネット認証ライセンス(占有)

ネット認証ライセンス(共有)

USBプロテクト【SNS-W】

次ページ「2. インストール方法を決めます」に進み、プログラムをインストールします。

次ページへ

※ USBプロテクトは、まだコンピューターに装着しないでください。

ネット認証ライセンス(LAN)

まず、

P.42 [補足1] ネット認証ライセンス(LAN)のセットアップ手順を参照して、ネット認証ライセンス(LAN)をセットアップします。

その後に、次ページ「2. インストール方法を決めます」に進み、プログラムをインストールします。

P.42へ

USBプロテクト【SNS-LAN-X】

まず、

P.44 [補足2] SNS-LAN-Xのセットアップ手順を参照して、SNS-LAN-X をセットアップします。

その後に、次ページ「2. インストール方法を決めます」に進み、プログラムをインストールします。

P.44へ

※ USBプロテクトは、まだサーバーに装着しないでください。

2. インストール方法を決めます

Mercury-ONE のインストール方法には、以下の3種類があります。
ご使用になる環境に合ったインストール方法を選択してください。

スタンドアロン

すべてのファイルを、
1台のコンピューター
にインストールします。

1台のコンピューターで、
現場データを編集します。

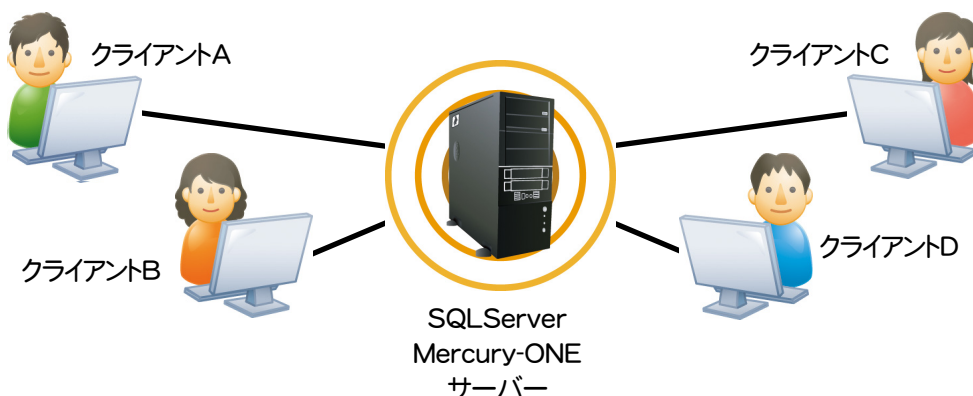


次ページへ

サーバークライアント（共同編集あり）

現場データや設定ファイル
をサーバーで管理します。

現場データを、複数のユーザーで
同時に共同編集できます。

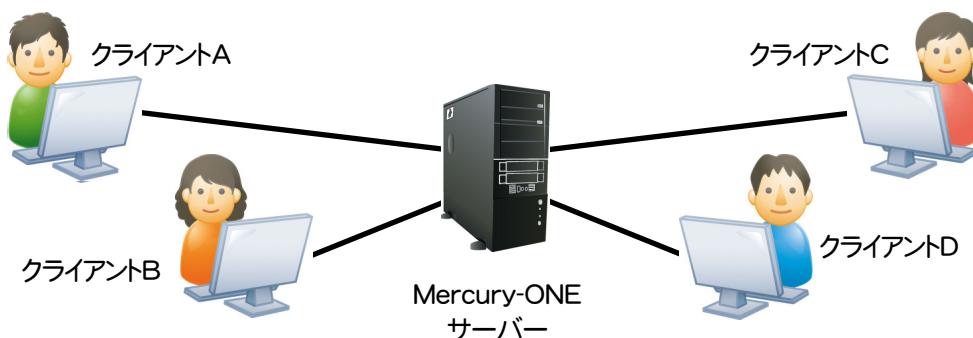


P.20へ

サーバークライアント（共同編集なし）

現場データや設定ファイル
をサーバーで管理します。

現場データの共同編集はできません。



P.32へ

3. 「スタンドアロン」 の 新規インストール手順

お使いのコンピューターに、「スタンドアロン」 で Mercury-ONE を新規インストールします。

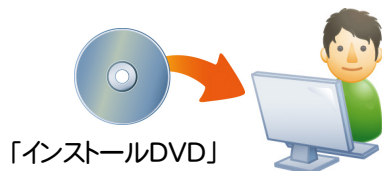
「Step1 | Mercury-ONE のインストール」

「Step2 | BEST FAQ のインストール」

「Step3 | ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCアカウントの登録」 の順でインストールします。

Step1 | Mercury-ONE のインストール

1. コンピューターに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の
[Mercury-ONE] ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の
[Install.exe] を実行してください。

[スタンドアロン] タブを選択します。



[① Mercury-ONE] ボタンを押します。



3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



(次ページへ続きます)

[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



コンピューターの時計、使用するプロテクト(「プロテクト」タイプ)、インストール先フォルダーを確認します。必要があれば、変更してください。

設定を終えたら、[次へ]を押します。



必ず確認してください。

時計を確認してください

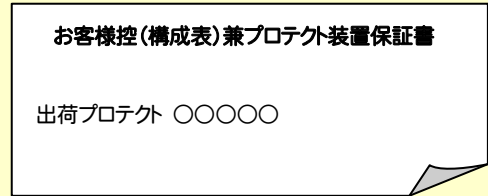
コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する]ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

プロテクトタイプを確認してください

「プロテクト」タイプは、同梱の「お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書」に記載されています。



「プロテクト」タイプの初期値は、「ネット認証ライセンス(占有)」です。

他のプロテクト(ネット認証ライセンス(LAN)、USBプロテクト【SNS-W】、【SNS-LAN-X】など)を使用される場合は、[「プロテクト」タイプを変更する]ボタンを押して、使用するプロテクトを選択してください。



【 ネット認証 】

- **[占有]** : ネット認証ライセンス(占有)の場合に選択します。
 - **[LAN] (※1)** : ネット認証ライセンス(LAN)の場合に選択します。
 - **[占有 + LAN] (※1)** : ネット認証ライセンス(占有)とネット認証ライセンス(LAN)を併用する場合に選択します。
 - **[共有]** : ネット認証ライセンス(共有)の場合に選択します。
- (※1) LANの場合は、「FCネット認証LAN Server」をインストールしたライセンス管理用サーバー名を入力してください。

【 SNS 】

- **[USBローカル]** : USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。
 - **[LAN] (※2)** : USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。
 - **[USBローカル + LAN] (※2)** : USBプロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用する場合に選択します。
- (※2) LANの場合は、【SNS-LAN-X】を装着したライセンス管理用サーバー名を入力してください。

(次ページへ続きます)



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



USBタイプのプロテクト装置は接続しないでください

USBタイプのプロテクト装置がパソコンに接続されている場合は、外してください。
他社のプロテクト装置も外してください。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

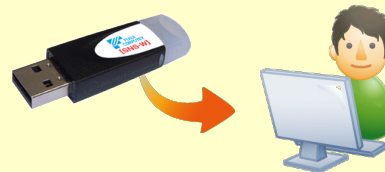
誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

USBプロテクト【SNS-W】を使用するお客様は

プログラムのインストールが終わったら、コンピューターにプロテクトを装着してください。

自動的にプロテクトドライバーがインストールされ、USBプロテクトが認識されます。



再起動後に「FCアカウント」の画面が表示された場合は

FCアカウントの登録は、プログラムの初回起動後におこないます。

ここではまだ何もしないで、次ページの手順に進んでください。



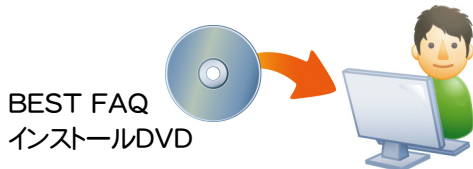
(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | BEST FAQ のインストール

※ 次の手順は、保守サポートサービス「FCM-MUGQ」をご契約のお客様のみ、おこなってください。

「BEST FAQ」のインストールDVDは、「FCM-MUGQ」をご契約のお客様にお送りしています。

1. コンピューターに、「BEST FAQ」のインストールDVDをセットします。



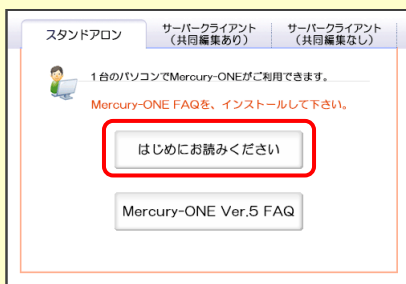
2. セットアップ画面の「スタンドアロン」タブをクリックします。



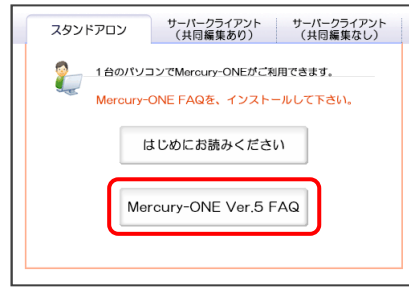
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

「はじめにお読みください」を確認して下さい

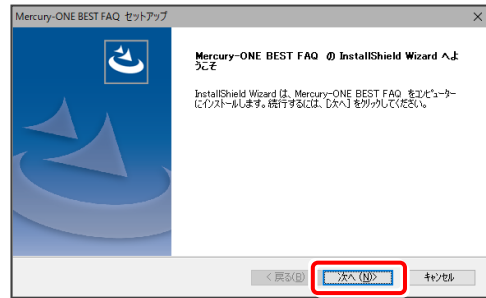
「はじめにお読みください」では、BEST FAQのインストール手順などを確認することができます。



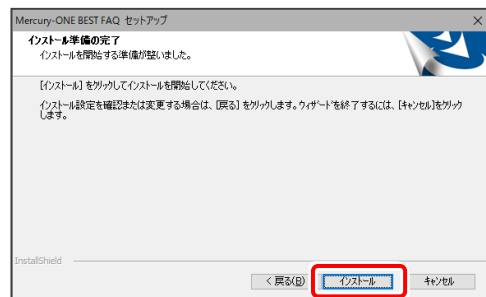
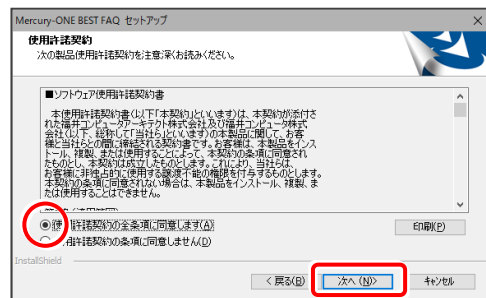
3. [Mercury-ONE FAQ] ボタンを押します。



4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページ「Step3」へ進みます)

Step3 | ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCアカウントの登録

プログラムを起動して、使用するプロテクトを選択します。

ネット認証ライセンス(占有または共有)の場合は、「プロダクトIDの認証」をおこないます。

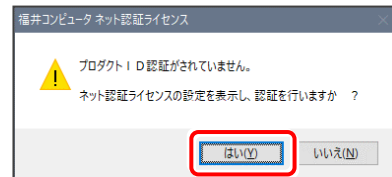
※ プロダクトIDの認証は、インターネットに接続された環境が必要です。

1. デスクトップの[Mercury-ONE]のアイコンをダブルクリックして起動します。



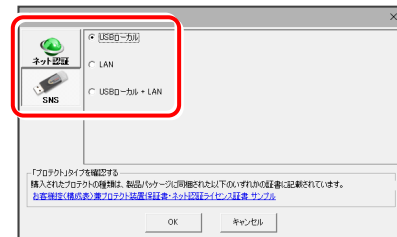
2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押してプロダクトIDの認証をおこないます。

※ ネット認証ライセンス(占有)または(共有)を使用する場合のみです。他のプロテクトを使用する場合は、[いいえ]を押して閉じてください。



[プロテクト設定]画面が表示された場合は、使用するプロテクトを選択して[OK]を押します。

※ どれを選択すればいいかわからない場合は、本書の P.49 を参照してください。

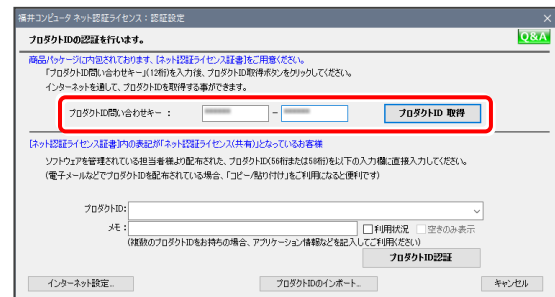


ネット認証ライセンス(占有)の場合の、プロダクトID認証の手順

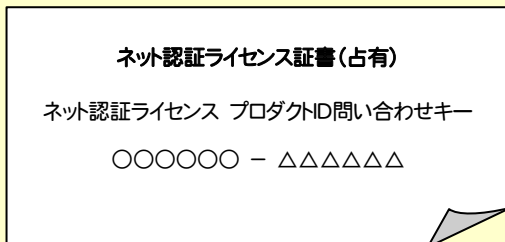
※ ネット認証ライセンス(占有)のお客様のみ、おこなってください。

[プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

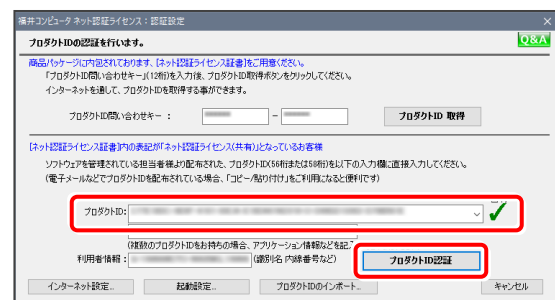
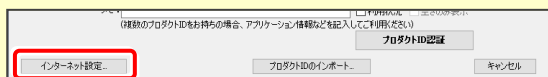
[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。



[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。



※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



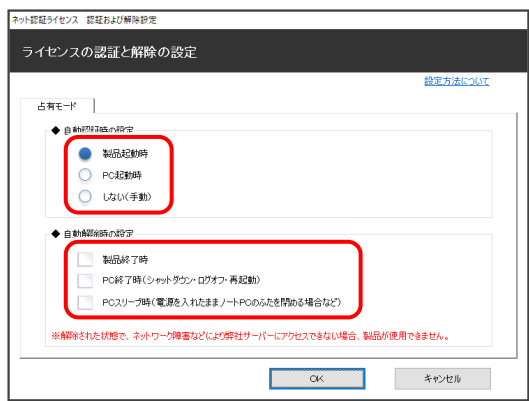
(次ページへ続きます)

「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。
 お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します
 事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。

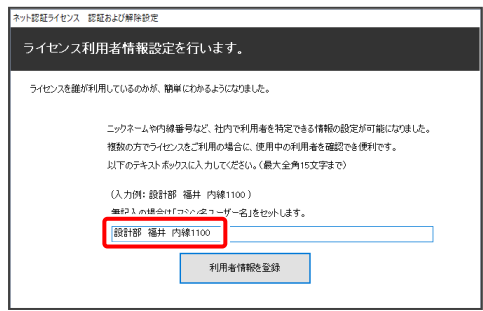


選択を終えたら、[OK] ボタンを押します。

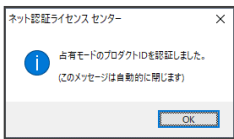


利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】 は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。
 内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



ネット認証ライセンス(占有)のプロダクトIDが認証されます。
 続いて次ページ **3.** に進みます。



ネット認証ライセンス(共有)の場合、プロダクトID認証の手順

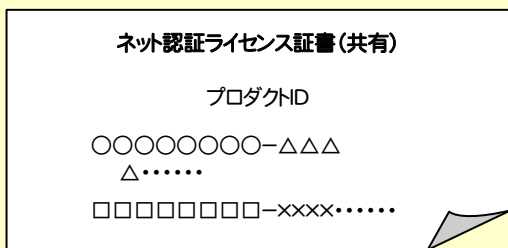
※ ネット認証ライセンス(共有)のお客様のみ、おこなってください。

[プロダクトID]にソフトウェア管理者から提供された[プロダクトID]を入力し、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

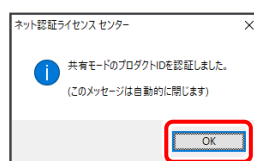
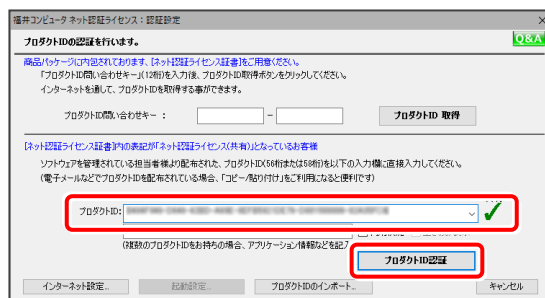
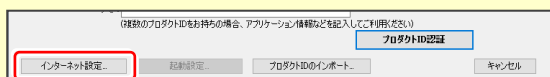
ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される「ネット認証ライセンス証書(共有)」に記載されています。

ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者(コンピューター)がどの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。



※ プロダクトIDの認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



ネット認証ライセンス(共有)のプロダクトIDが認証されます。

続いて **3.** に進みます。

3. プログラムが起動されます。

FCアカウントの新規アカウント作成画面が表示された場合は、以下の手順で登録してください。

FCアカウントの登録について

FCアカウントを登録していただくと、最新版プログラムの取得、保守契約特典、ライセンス管理等、様々なサービスがご利用いただけます。

※ FCアカウントのご利用には、インターネットに接続できる環境が必要です。

まだFCアカウントを登録していない場合は

[次のステップへ]をクリックします。

「メールアドレス」や「パスワード」などを登録して、FCアカウントを新規作成します。

すでにFCアカウントを登録済みの場合は

他商品などでFCアカウントを登録済みの場合は、[すでにFCアカウントをお持ちの場合はログインへ]をクリックします。

登録済みの「メールアドレス」と「パスワード」を入力して、ログインします。



以上で Mercury-ONE の新規導入は **完了** です。

- メモ -

4.「サーバークライアント（共同編集あり）」の新規インストール手順

Mercury-ONE を「サーバークライアント（共同編集あり）」で新規インストールします。

まずサーバーで

- 「Step1 | SQLServer インストール
- 「Step2 | Mercury-ONE サーバーインストール
- 「Step3 | BEST FAQ サーバーインストール」をおこないます。

次にクライアントで

- 「Step4 | Mercury-ONE クライアントインストール
- 「Step5 | ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCアカウントの登録」をおこないます。

まず、サーバーにプログラムをインストールします

Step1 | SQLServer インストール

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の [Mercury-ONE] ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

[サーバークライアント(共同編集あり)]タブを選択します。



[① SQLServer インストールアシスト] ボタンを押します。



(次ページへ続きます)

3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

インストールアシストが不要な場合があります

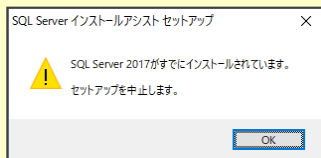
※ サーバーに、既に製品版の「SQL Server」がインストール済みの場合は、「インストールアシスト」でSQL Serverをインストールしないでください。

次ページ「Step2」へ進んでください。

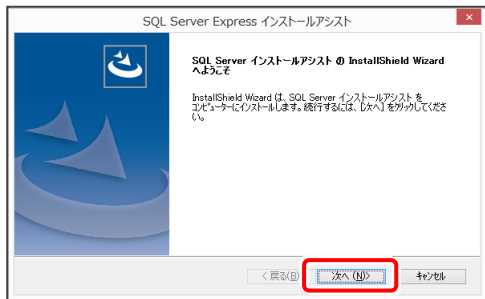
※ 「インストールアシスト」でSQL Serverをインストールする必要がない場合は、「セットアップ (インストール) を中止します。」とメッセージが表示されます。

次ページ「Step2」へ進んでください。

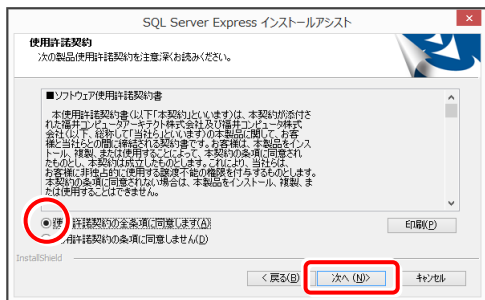
メッセージ例



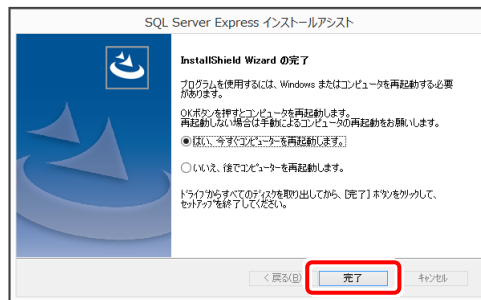
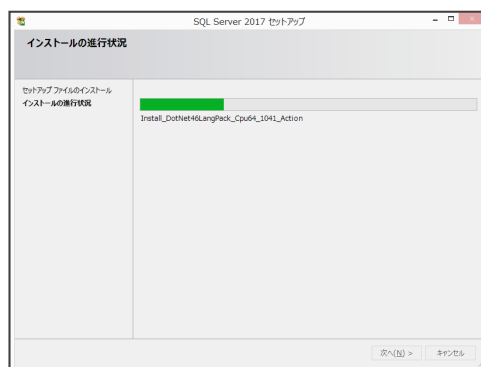
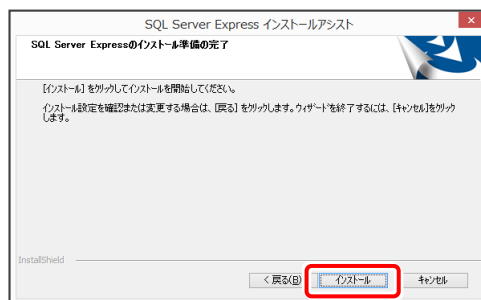
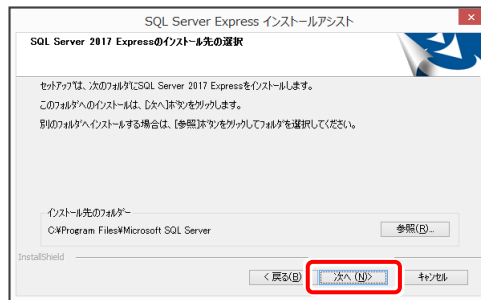
- ※ 画面は、環境によって異なる場合があります。
- ※ インストールには時間がかかる場合があります。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | Mercury-ONE

サーバーインストール

1. サーバーで、セットアップ画面の
 [② Mercury-ONE サーバーインストール] ボタン
 を押します。



2. インストール環境の確認画面が表示されます。
 すべての項目を確認してチェックしてから、
 [次へ] ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を
 選択します。

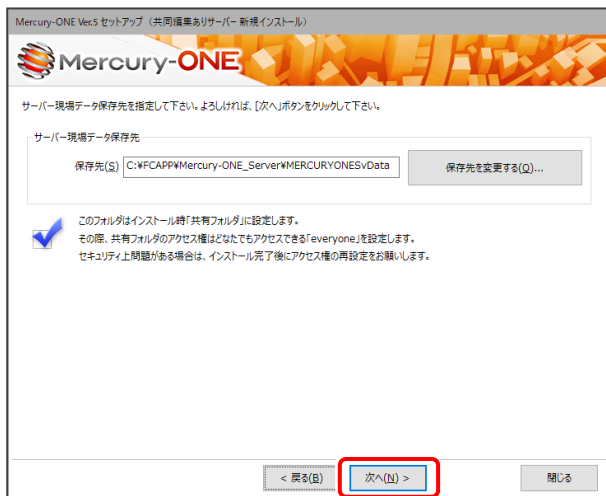


プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



(次ページへ続きます)

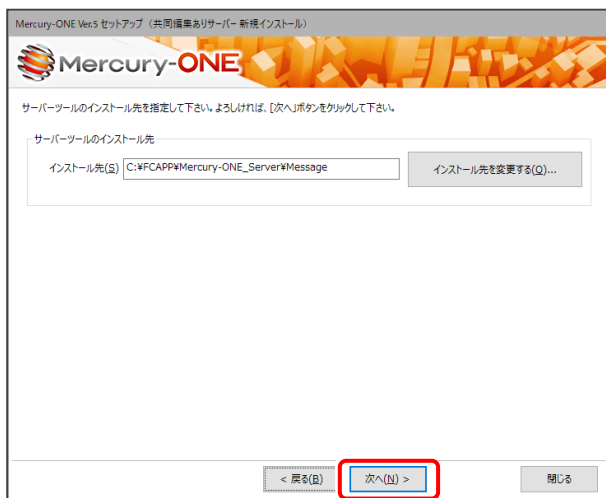
サーバー現場データの保存先を確認して、**[次へ]**を押します。



内容を確認して、**[セットアップ開始]**を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



サーバーツールのインストール先を確認して、**[次へ]**を押します。



インストールが終わったら、**[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]**を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

(次ページへ続きます)

確認を終えたら、[閉じる]を押します。



(次ページ「Step3」へ進みます)

Step3 | BEST FAQ サーバーインストール

※ 次の手順は、保守サポートサービス「FCM-MUGQ」をご契約のお客様のみ、おこなってください。
 「BEST FAQ」のインストールDVDは、「FCM-MUGQ」をご契約のお客様にお送りしています。

1. サーバーに、「BEST FAQ」のインストールDVDをセットします。



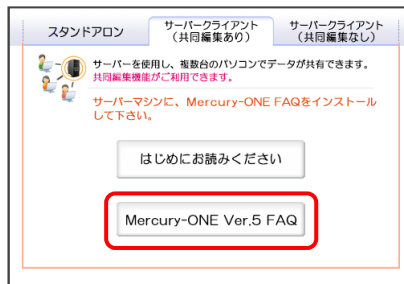
2. セットアップ画面の「サーバークライアント(共同編集あり)」タブをクリックします。



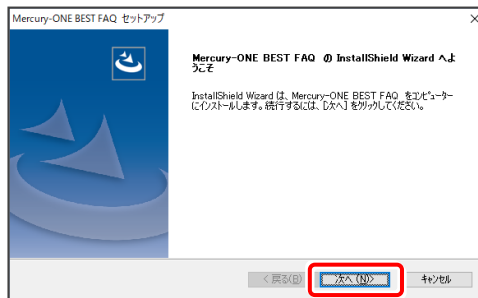
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

「はじめにお読みください」を確認して下さい
 「はじめにお読みください」では、BEST FAQのインストール手順などを確認することができます。

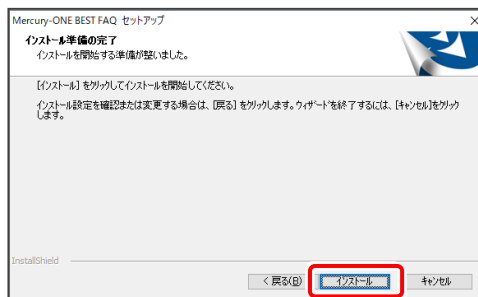
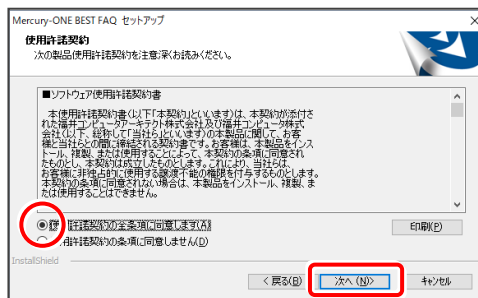
3. [Mercury-ONE FAQ] ボタンを押します。



4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。

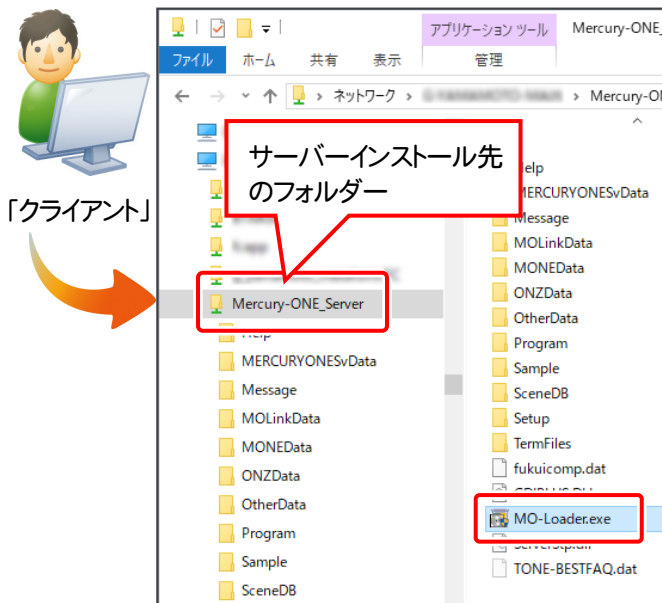


(次ページ「Step4」へ進みます)

次に、クライアントにプログラムをインストールします

Step4 | Mercury-ONE クライアントインストール

1. クライアントで、「エクスプローラー」を開きます。
「ネットワーク」からサーバーを選択して、「サーバーインストール先のフォルダー」にある「MO-Loader.exe」を実行します。



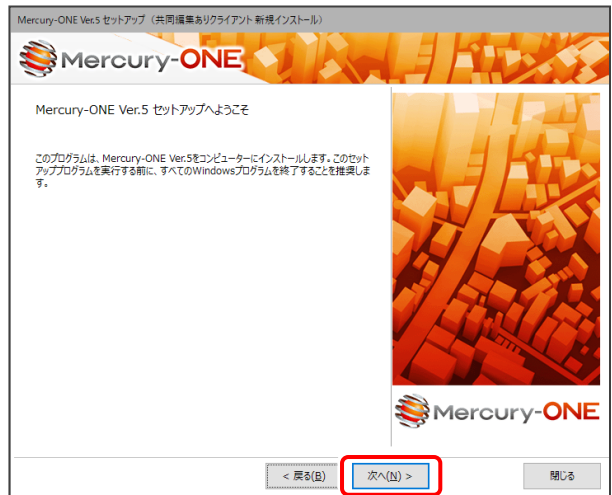
クライアントとサーバーが、同一PCの場合は

上記手順と同様に、「エクスプローラー」の「ネットワーク」から自分のPCを開き、「サーバーインストール先のフォルダー」にある「MO-Loader.exe」を実行してください。

2. インストール環境の確認画面が表示されます。
すべての項目を確認してチェックしてから、「次へ」ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



（次ページへ続きます）

コンピューターの時計、使用するプロテクト（「プロテクト」タイプ）、インストール先フォルダーを確認します。
必要があれば、変更してください。
設定を終えたら、[次へ]を押します。



時計を確認してください

コンピューターの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

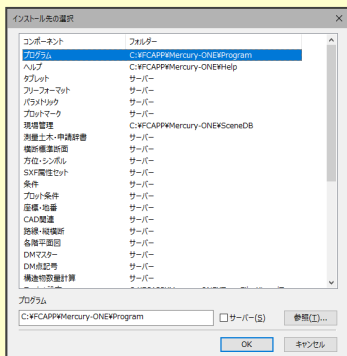
インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する] ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

[各フォルダーを個別に設定する]とは

[インストール先]の[基本フォルダー]で指定したフォルダーには、プログラムやヘルプファイルなどがインストールされます。設定ファイルは共有のため、サーバーにインストールされます。

プログラムや各設定ファイルのインストール先を個別に指定したい場合は、[各フォルダーを個別に設定する]ボタンから表示されるダイアログで指定します。



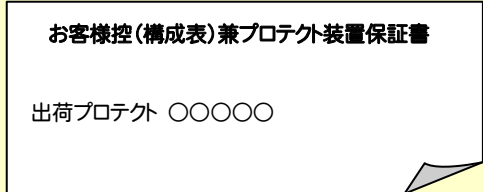
各コンポーネントを選択して、インストール先フォルダーを個別に指定します。

サーバーにインストールする場合は、[サーバー]チェックボックスをオンにします。

サーバー以外にインストールする場合は、[サーバー]チェックボックスをオフにし、インストール先のフォルダーを入力します。

プロテクトタイプを確認してください

「プロテクト」タイプは、同梱の「お客様控（構成表）兼プロテクト装置保証書」に記載されています。



「プロテクト」タイプの初期値は、「ネット認証ライセンス(占有)」です。

他のプロテクト（ネット認証ライセンス(LAN)、USBプロテクト【SNS-W】、【SNS-LAN-X】など)を使用される場合は、「プロテクト」タイプを変更する]ボタンを押して、使用するプロテクトを選択して下さい。



【 ネット認証 】

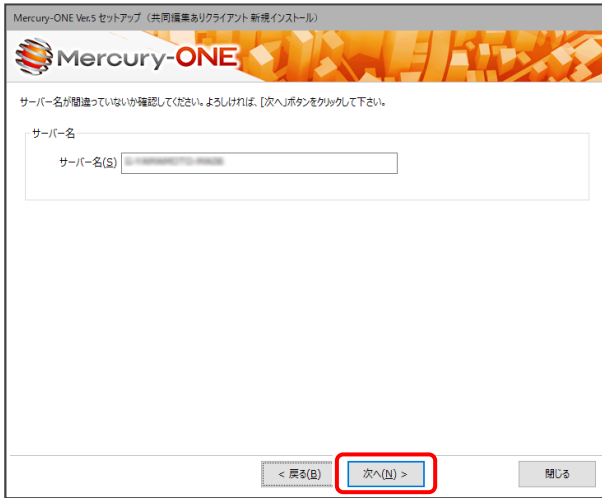
- [占有]： ネット認証ライセンス(占有)の場合に選択します。
 - [LAN] (※1)： ネット認証ライセンス(LAN)の場合に選択します。
 - [占有 + LAN] (※1)： ネット認証ライセンス(占有)とネット認証ライセンス(LAN)を併用する場合に選択します。
 - [共有]： ネット認証ライセンス(共有)の場合に選択します。
- (※1) LANの場合は、「FCネット認証LAN Server」をインストールしたライセンス管理用サーバー名を入力してください。

【 SNS 】

- [USBローカル]： USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。
 - [LAN] (※2)： USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。
 - [USBローカル + LAN] (※2)： USBプロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用する場合に選択します。
- (※2) LANの場合は、【SNS-LAN-X】を装着したライセンス管理用サーバー名を入力してください。

(次ページへ続きます)

サーバー名を確認して次へ進みます。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



USBタイプのプロテクト装置は接続しないでください
USBタイプのプロテクト装置がパソコンに接続されている場合は、外してください。
他社のプロテクト装置も外してください。

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動してください。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考にしてください。

USBプロテクト【SNS-W】を使用するお客様は

プログラムのインストールが終わったら、クライアントコンピューターにプロテクトを装着してください。

自動的にプロテクトドライバーがインストールされ、プロテクトが認識されます。



再起動後に「FCアカウント」の画面が表示された場合は

FCアカウントの登録は、プログラムの初回起動後におこないます。

ここではまだ何もしないで、次ページの手順に進んでください。



(次ページ「Step5」へ進みます)

Step5 | ネット認証ライセンスのプログラムID認証と、FCアカウントの登録

プログラムを起動して、使用するプロテクトを選択します。

ネット認証ライセンス(占有または共有)の場合は、「プログラムIDの認証」をおこないます。

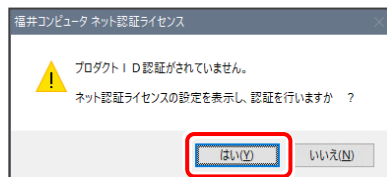
※ プログラムIDの認証は、インターネットに接続された環境が必要です。

1. クライアントコンピューターで、デスクトップの[Mercury-ONE]のアイコンをダブルクリックして起動します。



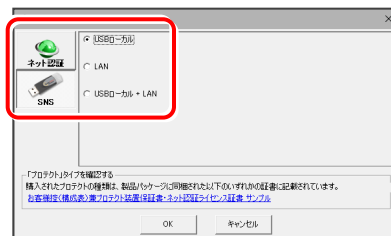
2. プログラムID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押してプログラムIDの認証をおこないます。

※ ネット認証ライセンス(占有)または(共有)を使用する場合のみです。他のプロテクトを使用する場合は、[いいえ]を押して閉じてください。



[プロテクト設定]画面が表示された場合は、使用するプロテクトを選択して[OK]を押します。

※ どれを選択すればいいかわからない場合は、本書の P.49 を参照してください。



ネット認証ライセンス(占有)の場合の、プログラムID認証の手順

※ ネット認証ライセンス(占有)のお客様のみ、おこなってください。

[プログラムID問い合わせキー]を入力して、[プログラムID取得]ボタンを押します。

[プログラムID]が取得されたのを確認したら、[プログラムID認証]ボタンを押します。

[プログラムID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。

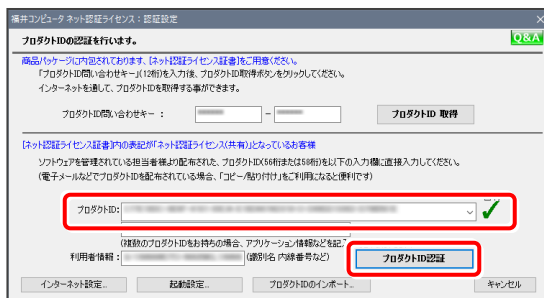
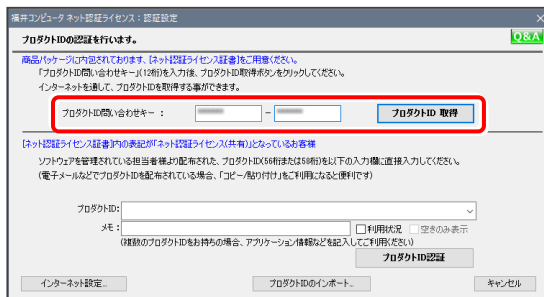
ネット認証ライセンス証書(占有)

ネット認証ライセンス プログラムID問い合わせキー

○○○○○○ - △△△△△△

※ プログラムIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。

インターネット設定



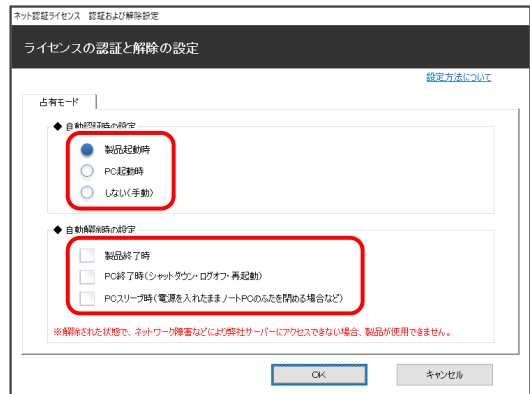
(次ページへ続きます)

「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。
 お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と
 「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します
 事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。

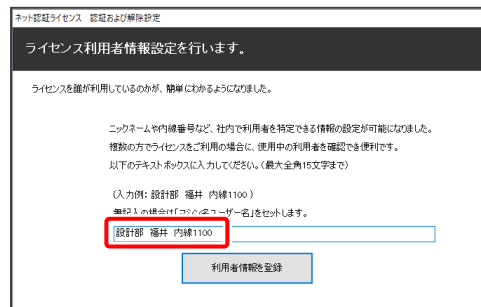


選択を終えたら、[OK] ボタンを押します。



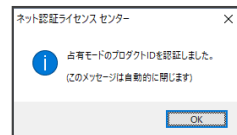
利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】 は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。
 内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



ネット認証ライセンス(占有)のプロダクトIDが認証されます。

続いて次ページ **3.** に進みます。



ネット認証ライセンス(共有)の場合、プロダクトID認証の手順

※ ネット認証ライセンス(共有)のお客様のみ、おこなってください。

[プロダクトID]にソフトウェア管理者から提供された[プロダクトID]を入力し、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される「ネット認証ライセンス証書(共有)」に記載されています。

ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者(コンピューター)がどの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。

ネット認証ライセンス証書(共有)

プロダクトID

○○○○○○○○○-△△△

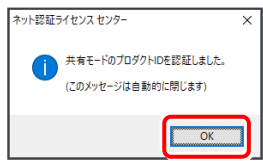
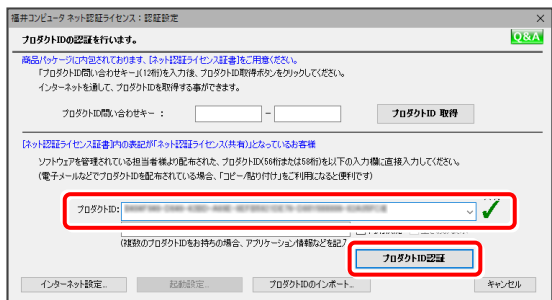
△.....

□□□□□□□-XXXX.....

※ プロダクトIDの認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。

(複数のプロダクトIDをお持ちの場合、アプリケーション情報などを記入してご利用ください)

インターネット設定... プロダクトID認証 プロダクトIDのインストール... キャンセル



ネット認証ライセンス(共有)のプロダクトIDが認証されます。

続いて **3.** に進みます。

3. プログラムが起動されます。
FCアカウントの新規アカウント作成画面が表示された場合は、以下の手順で登録してください。

FC アカウントの登録について

FC アカウントを登録していただくと、最新版プログラムの取得、保守契約特典、ライセンス管理等、様々なサービスがご利用いただけます。

※ FC アカウントのご利用には、インターネットに接続できる環境が必要です。

まだFCアカウントを登録していない場合は

[次のステップへ]をクリックします。

「メールアドレス」や「パスワード」などを登録して、FCアカウントを新規作成します。

すでにFCアカウントを登録済みの場合は

他商品などでFCアカウントを登録済みの場合は、[すでにFCアカウントをお持ちの場合はログインへ]をクリックします。

登録済みの「メールアドレス」と「パスワード」を入力して、ログインします。



以上で Mercury-ONE の新規導入は 完了 です。

5. 「サーバークライアント（共同編集なし）」の新規インストール手順

Mercury-ONE を「サーバークライアント（共同編集なし）」で新規インストールします。

まずサーバーで

「Step1 | Mercury-ONE サーバーインストール」

「Step2 | BEST FAQ サーバーインストール」をおこないます。

次にクライアントで

「Step3 | Mercury-ONE クライアントインストール」

「Step4 | ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCアカウントの登録」をおこないます。

まず、サーバーにプログラムをインストールします

Step1 | Mercury-ONE サーバーインストール

1. サーバーに、「インストールDVD」をセットします。



2. セットアップ画面の [Mercury-ONE] ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

[サーバークライアント(共同編集なし)]タブを選択します。

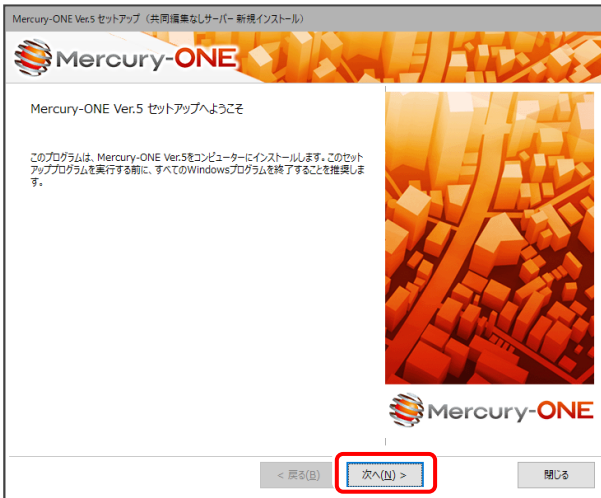


[① Mercury-ONE サーバーインストール] ボタンを押します。



(次ページへ続きます)

3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続きます)

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。



(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | BEST FAQ サーバーインストール

※ 次の手順は、保守サポートサービス「FCM-MUGQ」をご契約のお客様のみ、おこなってください。
 「BEST FAQ」のインストールDVDは、「FCM-MUGQ」をご契約のお客様にお送りしています。

1. サーバーに、「BEST FAQ」のインストールDVDをセットします。



2. セットアップ画面の「サーバークライアント(共同編集なし)」タブをクリックします。



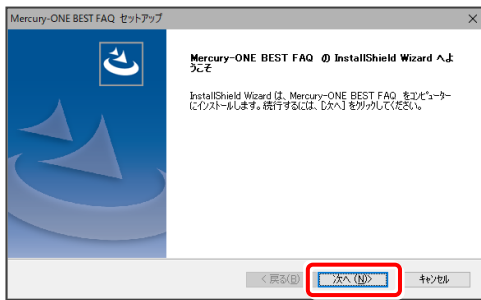
※ 上記画面が表示されない場合は、「インストールDVD」内の [Install.exe] を実行してください。

「はじめにお読みください」を確認して下さい
 「はじめにお読みください」では、BEST FAQのインストール手順などを確認することができます。

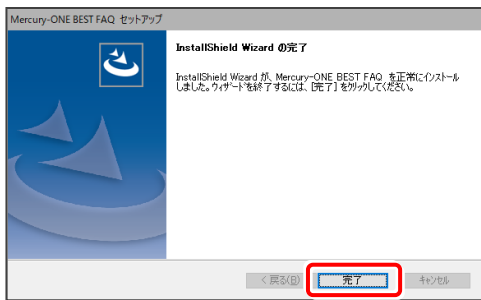
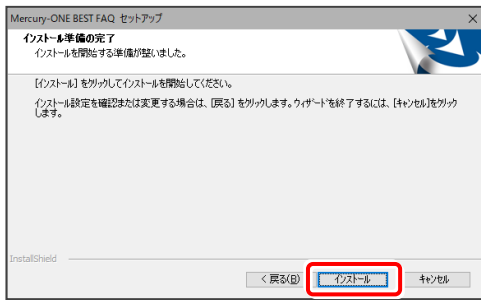
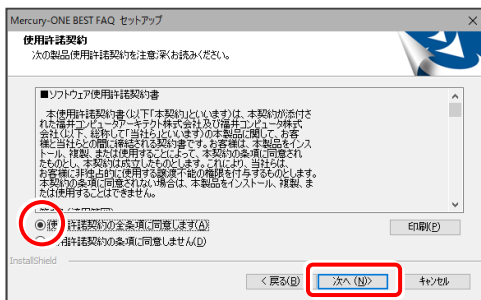
3. [Mercury-ONE FAQ] ボタンを押します。



4. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。

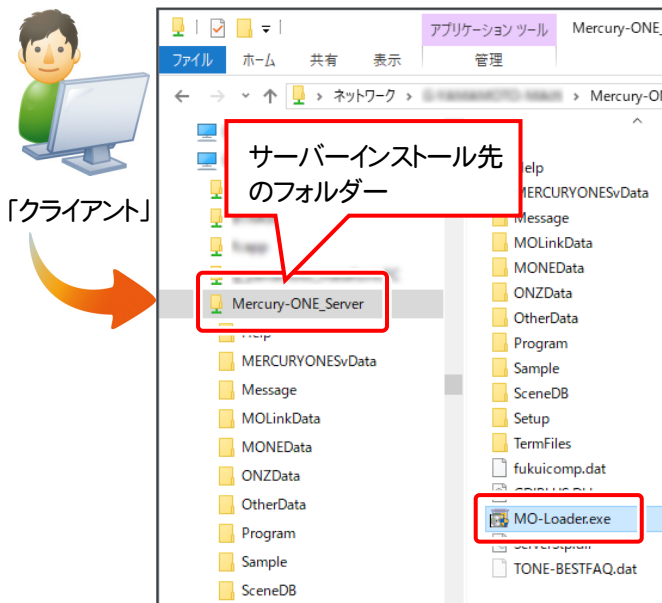


(次ページ「Step3」へ進みます)

次に、クライアントにプログラムをインストールします

Step3 | Mercury-ONE クライアントインストール

1. クライアントで、「エクスプローラー」を開きます。
「ネットワーク」からサーバーを選択して、「サーバーインストール先のフォルダー」にある「MO-Loader.exe」を実行します。



クライアントとサーバーが、同一PCの場合は

上記手順と同様に、「エクスプローラー」の「ネットワーク」から自分のPCを開き、「サーバーインストール先のフォルダー」にある「MO-Loader.exe」を実行してください。

2. 表示される画面に従って、インストールを進めます。



[ソフトウェア使用許諾契約の全条項に同意します]を選択します。



(次ページへ続きます)

コンピュータの時計、使用するプロテクト(「プロテクト」タイプ)、インストール先フォルダーを確認します。
 必要があれば、変更してください。
 設定を終えたら、[次へ]を押します。



時計を確認してください

コンピュータの時計が正しくないと、プロテクトが正常に動作しません。

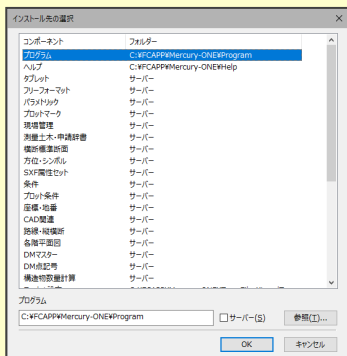
インストール先のフォルダーを確認してください

インストール先を変更する場合は、[インストール先を変更する]ボタンから表示されるダイアログで、インストール先のフォルダーを指定します。

[各フォルダーを個別に設定する]とは

[インストール先]の[基本フォルダー]で指定したフォルダーには、プログラムやヘルプファイルなどがインストールされます。設定ファイルは共有のため、サーバーにインストールされます。

プログラムや各設定ファイルのインストール先を個別に指定したい場合は、[各フォルダーを個別に設定する]ボタン から表示されるダイアログで指定します。



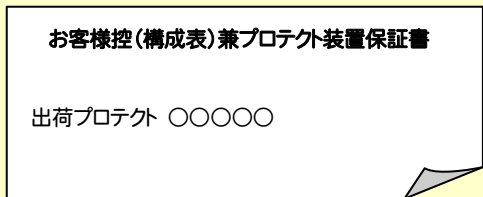
各コンポーネントを選択して、インストール先フォルダーを個別に指定します。

サーバーにインストールする場合は、[サーバー]チェックボックスをオンにします。

サーバー以外にインストールする場合は、[サーバー]チェックボックスをオフにし、インストール先のフォルダーを入力します。

プロテクトタイプを確認してください

「プロテクト」タイプは、同梱の「お客様控(構成表)兼プロテクト装置保証書」に記載されています。



「プロテクト」タイプの初期値 は、「ネット認証ライセンス(占有)」です。

他のプロテクト(ネット認証ライセンス(LAN)、USBプロテクト【SNS-W】、【SNS-LAN-X】など)を使用される場合は、「プロテクト」タイプを変更する]ボタンを押して、使用するプロテクトを選択して下さい。



【 ネット認証 】

- **[占有]** : ネット認証ライセンス(占有)の場合に選択します。
 - **[LAN] (※1)** : ネット認証ライセンス(LAN)の場合に選択します。
 - **[占有 + LAN] (※1)** : ネット認証ライセンス(占有)とネット認証ライセンス(LAN)を併用する場合に選択します。
 - **[共有]** : ネット認証ライセンス(共有)の場合に選択します。
- (※1) LANの場合は、「FCネット認証LAN Server」をインストールしたライセンス管理用サーバー名を入力してください。

【 SNS 】

- **[USBローカル]** : USBプロテクト【SNS-W】の場合に選択します。
 - **[LAN] (※2)** : USBプロテクト【SNS-LAN-X】の場合に選択します。
 - **[USBローカル + LAN] (※2)** : USBプロテクト【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用する場合に選択します。
- (※2) LANの場合は、【SNS-LAN-X】を装着したライセンス管理用サーバー名を入力してください。

(次ページへ続きます)

内容を確認して、[セットアップ開始]を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



USBタイプのプロテクト装置は接続しないでください

USBタイプのプロテクト装置がパソコンに接続されている場合は、外してください。
他社のプロテクト装置も外してください。

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-ONEが正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。
再起動が必要な場合は、再起動してください。



USBプロテクト【SNS-W】を使用するお客様は

プログラムのインストールが終わったら、クライアントコンピューターにプロテクトを装着してください。

自動的にプロテクトドライバーがインストールされ、プロテクトが認識されます。



再起動後に「FCアカウント」の画面が表示された場合は

FCアカウントの登録は、プログラムの初回起動後におこないます。
ここではまだ何もしないで、次ページの手順に進んでください。



(次ページ「Step4」へ進みます)

Step4 | ネット認証ライセンスのプロダクトID認証と、FCアカウントの登録

プログラムを起動して、使用するプロテクトを選択します。

ネット認証ライセンス(占有または共有)の場合は、「プロダクトIDの認証」をおこないます。

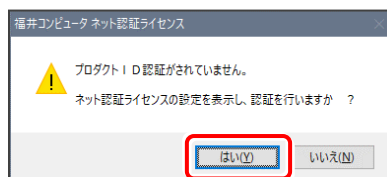
※ プロダクトIDの認証は、インターネットに接続された環境が必要です。

1. クライアントコンピューターで、デスクトップの[Mercury-ONE]のアイコンをダブルクリックして起動します。



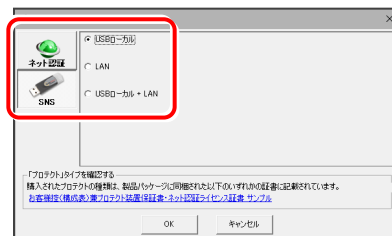
2. プロダクトID認証のメッセージが表示された場合は、[はい]を押してプロダクトIDの認証をおこないます。

※ ネット認証ライセンス(占有)または(共有)を使用する場合のみです。他のプロテクトを使用する場合は、[いいえ]を押して閉じてください。



[プロテクト設定]画面が表示された場合は、使用するプロテクトを選択して[OK]を押します。

※ どれを選択すればいいかわからない場合は、本書の P.49 を参照してください。



ネット認証ライセンス(占有)の場合の、プロダクトID認証の手順

※ ネット認証ライセンス(占有)のお客様のみ、おこなってください。

[プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]ボタンを押します。

[プロダクトID]が取得されたのを確認したら、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

[プロダクトID問い合わせキー]は 6桁+6桁 です。
送付される「ネット認証ライセンス証書(占有)」に記載されています。

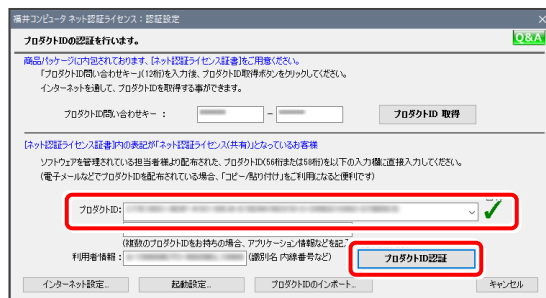
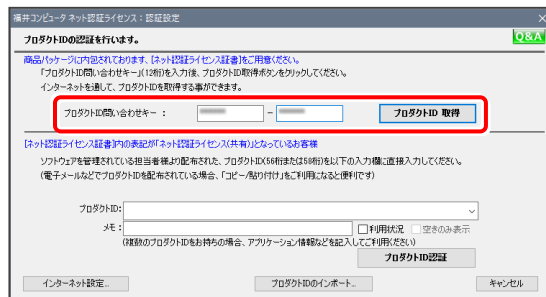
ネット認証ライセンス証書(占有)

ネット認証ライセンス プロダクトID問い合わせキー

○○○○○○ - △△△△△△

※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。

インターネット設定



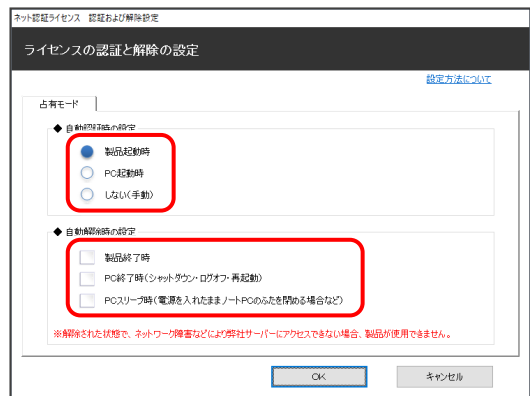
(次ページへ続きます)

「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。
 お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と
 「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します
 事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- 複数人でライセンスを使用する場合。
- 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。

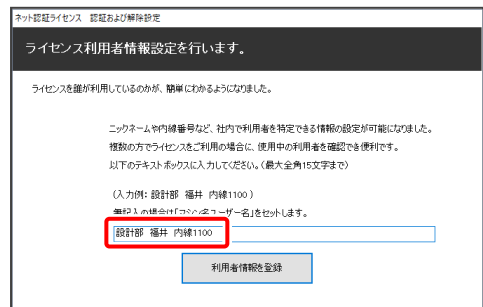


選択を終えたら、[OK] ボタンを押します。



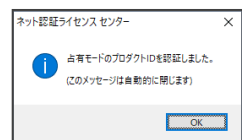
利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】 は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。
 内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



ネット認証ライセンス(占有)のプロダクトIDが認証されます。

続いて次ページ **3.** に進みます。



ネット認証ライセンス(共有)の場合、プロダクトID認証の手順

※ ネット認証ライセンス(共有)のお客様のみ、おこなってください。

[プロダクトID]にソフトウェア管理者から提供された[プロダクトID]を入力し、[プロダクトID認証]ボタンを押します。

ソフトウェア管理者の方へ

ライセンスの認証で必要になる「プロダクトID」は、送付される「ネット認証ライセンス証書(共有)」に記載されています。

ソフトウェア管理者の方は、あらかじめどの利用者(コンピューター)がどの「プロダクトID」を使用するか決めて配布してください。

ネット認証ライセンス証書(共有)

プロダクトID

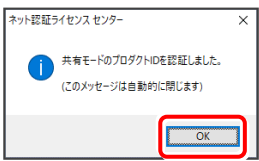
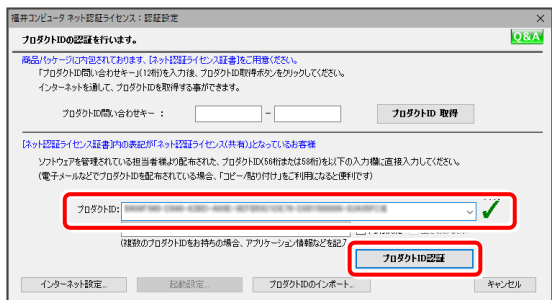
○○○○○○○○○-△△△

△.....

□□□□□□□-XXXX.....

※ プロダクトIDの認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。

(複数のプロダクトIDをお持ちの場合、アプリケーション情報などを記入してご利用ください)



ネット認証ライセンス(共有)のプロダクトIDが認証されます。

続いて **3.** に進みます。

3. プログラムが起動されます。
FCアカウントの新規アカウント作成画面が表示された場合は、以下の手順で登録してください。

FCアカウントの登録について

FCアカウントを登録していただくと、最新版プログラムの取得、保守契約特典、ライセンス管理等、様々なサービスがご利用いただけます。

※ FCアカウントのご利用には、インターネットに接続できる環境が必要です。

まだFCアカウントを登録していない場合は

[次のステップへ]をクリックします。

「メールアドレス」や「パスワード」などを登録して、FCアカウントを新規作成します。

すでにFCアカウントを登録済みの場合は

他商品などでFCアカウントを登録済みの場合は、[すでにFCアカウントをお持ちの場合はログインへ]をクリックします。

登録済みの「メールアドレス」と「パスワード」を入力して、ログインします。



以上で Mercury-ONE の新規導入は 完了 です。

補足1

ネット認証ライセンス(LAN) のセットアップ手順

ネット認証ライセンス(LAN)を使用される場合は、プログラムをインストールする前に、ライセンス管理用のサーバーに「ネット認証LANサーバー(ライセンス管理プログラム)」をセットアップします。

※ プロダクトIDの認証時には、インターネットに接続された環境が必要です。

※ サーバーの再起動が必要になる場合がありますので、ご注意ください。

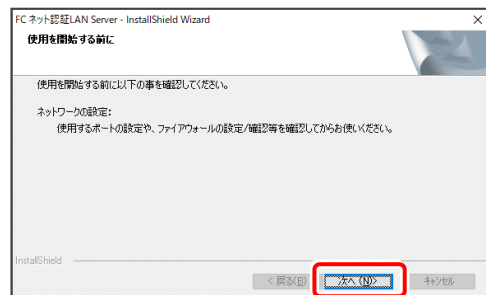
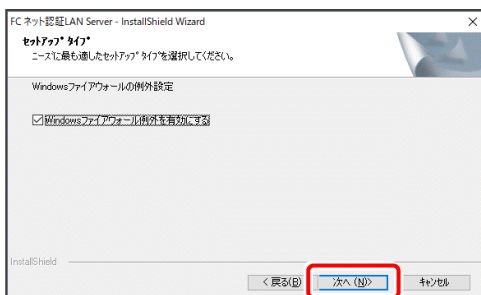
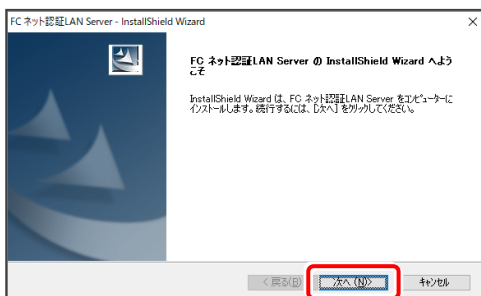
Step1 | ネット認証LANサーバーのインストール

1. ライセンス管理用のサーバーに「インストールDVD」をセットします。

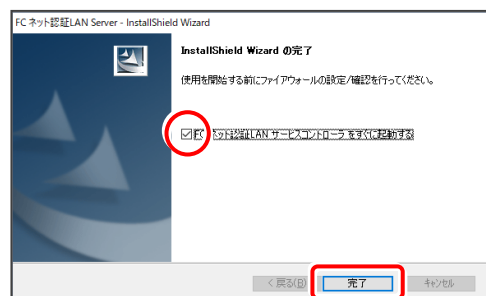
2. セットアップ画面の[ネット認証ライセンス LANモードサーバー]を押します。



3. 表示される画面に従って、ネット認証LANサーバーをインストールします。



4. [FC ネット認証LAN サービスコントローラ をすぐに起動する]にチェックを付けて [完了]を押します。

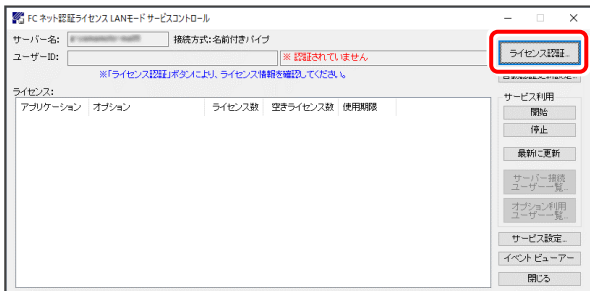


※ 再起動が必要な場合は、メッセージに従って再起動してから次の手順に進みます。

(次ページへ進みます)

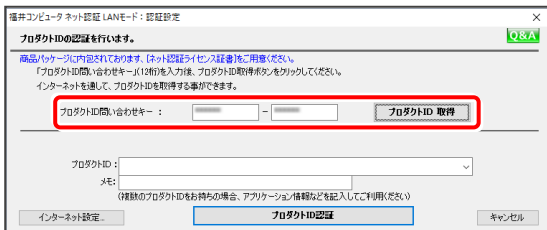
Step2 | プロダクトIDの認証(サーバー)

1. [FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール]画面の、[ライセンス認証]を押します。



※ 上記画面が表示されていない場合は、
Windows11 : スタートメニューの「すべてのアプリ」
Windows10 : スタートメニュー
Windows8.1 : スタート画面の「アプリ画面」
 から、[FC ネット認証LAN Server]-[FC ネット認証LAN サービスコントロール]を起動してください。

2. [認証設定]画面が表示されますので、[プロダクトID問い合わせキー]を入力して、[プロダクトID取得]を押します。



※ 「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 で、送付される「**ネット認証ライセンス証書(LAN)**」に記載されています。

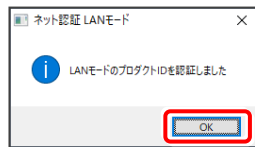
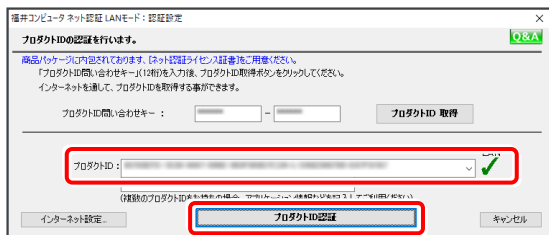
ネット認証ライセンス証書(LAN)

ネット認証ライセンス プロダクトID問い合わせキー

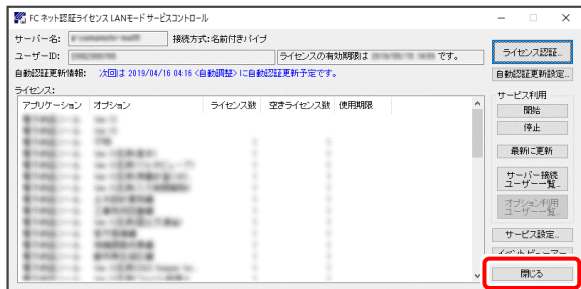
○○○○○○ - △△△△△△

※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、[インターネット設定]を押して、プロキシ設定を変更してみてください。

3. [プロダクトID]が取得されたのを確認し、[プロダクトID認証]を押します。

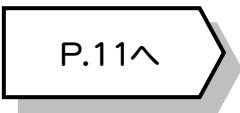


4. ライセンス情報が取得されたことを確認し、[閉じる]を押します。



以上でネット認証ライセンス(LAN)のセットアップは完了です。

続けてプログラムのインストールをおこなってください。



補足2

SNS-LAN-X のセットアップ手順

USBプロテクト【SNS-LAN-X】を使用される場合は、ライセンス管理用のサーバーに、プロテクトドライバと「SNS-LAN-Xサーバー(ライセンス管理プログラム)」をセットアップします。

※ サーバーが再起動されます。起動中のアプリケーションは終了しておいてください。

Step1 | システムセットアップ

1. ライセンス管理用のサーバーに、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」をセットします。



※ 重要!!

USBプロテクトは、まだサーバーに装着しないでください。

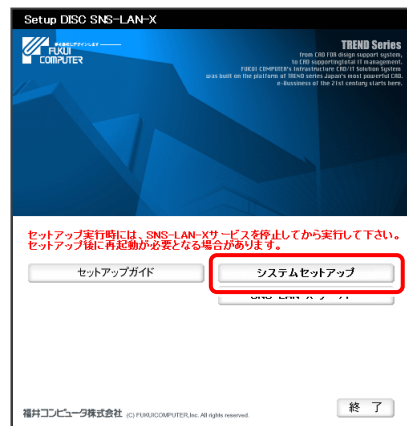


「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をお持ちのお客様は

プログラムのバージョンアップ時や、プログラムの追加購入時に発送される、「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をお持ちのお客様は、最新の「SNS-LAN-X用ライセンスCD【更新用】」をサーバーにセットして新規インストールをおこなってください。

(古い「SNS-LAN-X用ライセンスCD」でインストールしないでください。バージョンアップや追加購入したプログラムが動かなくなる可能性があります。)

2. セットアップ画面の[システムセットアップ]ボタンを押します。



※ 上記画面が表示されない場合は、「SNS-LAN-X用ライセンスCD」内の[Install.exe]を実行してください。

(次ページへ続きます)

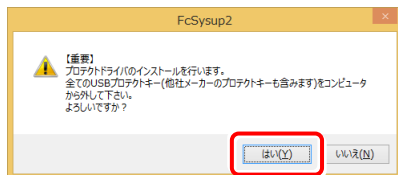
3. USBプロテクトの画像のボタンを押します。



[SNS-LAN-X]ボタンを押します。



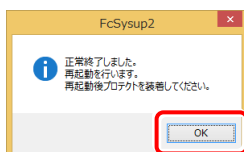
USBプロテクトがサーバーから外されている事を確認後、[はい]ボタンを押します。



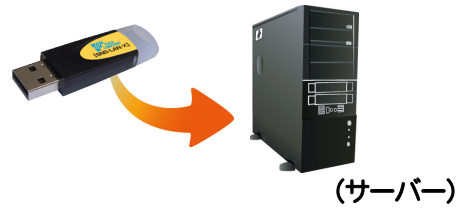
※ 重要!!

他社のソフトウェアで使用しているUSBプロテクトがある場合は、そのUSBプロテクトも外してください。

[OK]ボタンを押してサーバーを再起動します。



4. サーバーの再起動後、USBプロテクトを装着します。

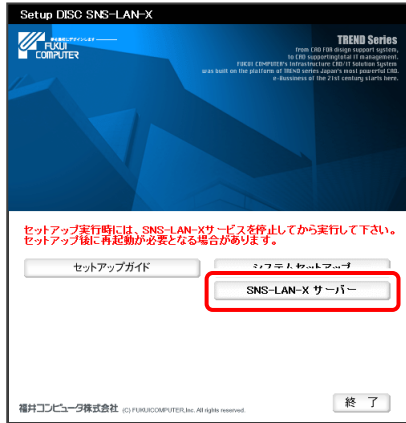


自動的にデバイスドライバソフトウェアがインストールされ、プロテクトが認識されます。

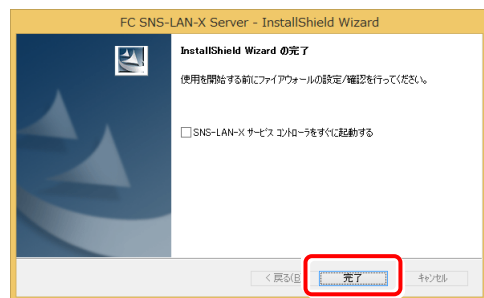
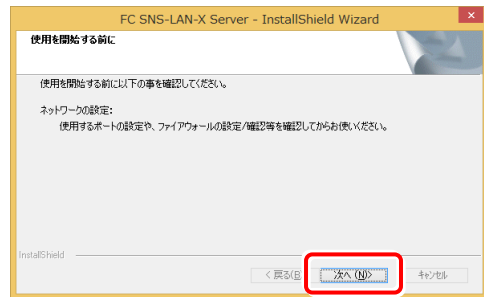
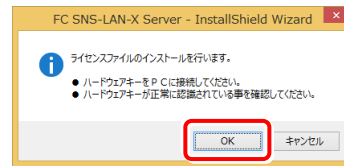
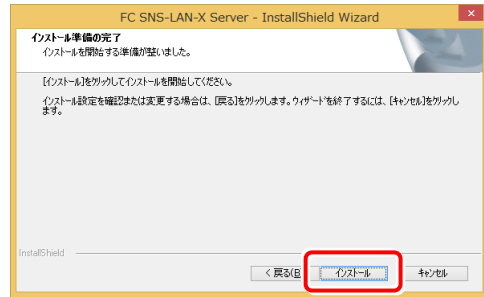
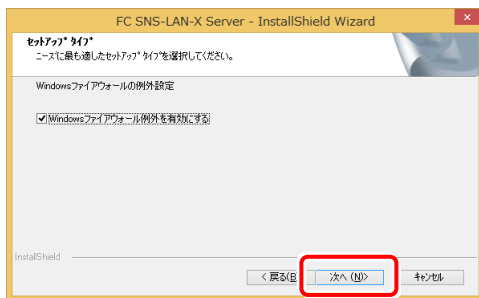
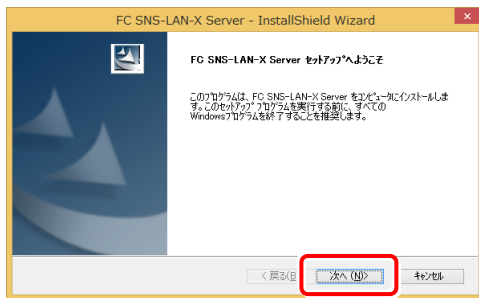
(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | 「SNS-LAN-Xサーバー」 (ライセンス管理プログラム)のインストール

1. USBプロテクト【SNS-LAN-X】を装着したサーバーで、[SNS-LAN-Xサーバー]ボタンを押します。



2. 表示される画面に従って、SNS-LAN-Xサーバーをインストールします。



以上で【SNS-LAN-X】プロテクトのセットアップは完了です。再起動のメッセージが表示された場合は、再起動してください。

続けてプログラムのインストールをおこなってください。

P.11へ

セットアップ Q&A

[Q.1] ネット認証ライセンスの操作が知りたいのですが、 どこかに資料はありますか？	48
[Q.2] プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の 画面が表示されて起動できません	49
[Q.3] ネット認証ライセンス(LAN)のライセンス管理について 教えてください	50
[Q.4] USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス管理について 教えてください	51
[Q.5] 「FCアカウント」では何ができるのでしょうか？ 使い方を教えてください。	52
[補足] ネット認証(占有)の解除方法	53
[補足] ネット認証(占有)の自動認証/解除の設定方法	54
[補足] FCアカウントの 「プログラムの更新」について	55
[補足] プログラムのバージョンアップは、 FCアカウントからおこないます	55

Q.1

ネット認証ライセンスの操作が知りたいのですが、どこかに資料はありますか？

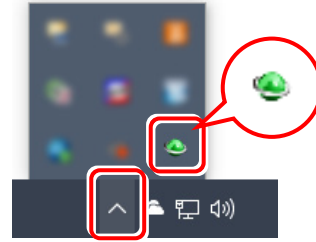
A.1

ネット認証ライセンスの Q&A をご覧になってください。

ネット認証ライセンスの設定画面から、ネット認証ライセンスの Q&A を開くことができます。
Q&A には、ネット認証ライセンスの機能や、お問い合わせのあった内容について記載されています。

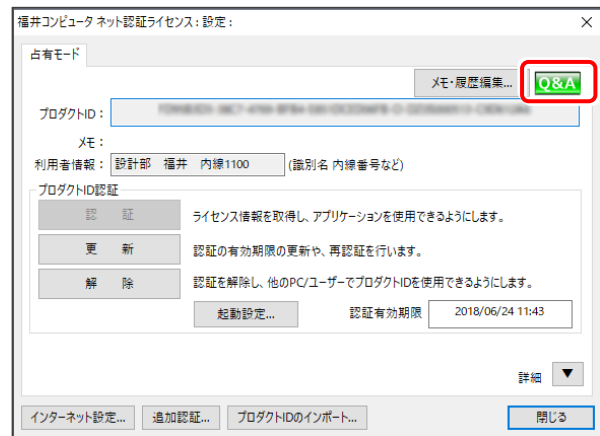
開き方

1. 画面右下のタスクバーの通知領域に表示される「ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックして、ネット認証ライセンスの設定画面を開きます。

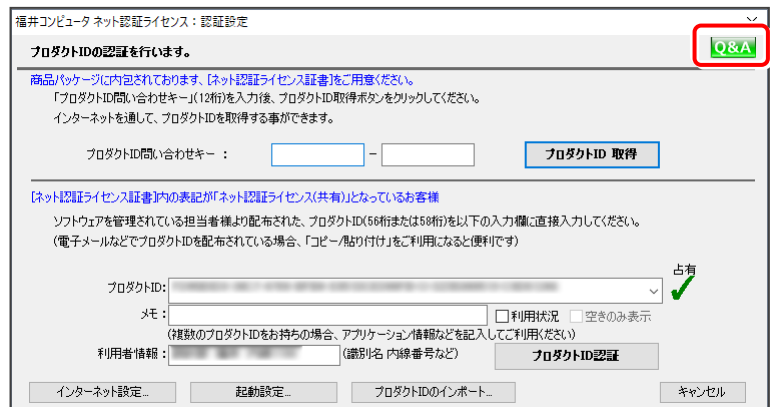


2. ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。[Q&A] ボタンを押します。

ネット認証ライセンスの Q&A が開きます。



または



Q.2

プログラムの起動時に、「プロテクト設定」の画面が表示されて起動できません。どうすればいいのでしょうか？

A.2

お使いのプロテクトを選択し、[OK]ボタンを押してください。

<p>【ネット認証ライセンス(占有)】を使用</p> <p>[ネット認証] - [占有モード]を選択</p> 	<p>【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用</p> <p>[ネット認証] - [LANモード]を選択</p> 	<p>【ネット認証ライセンス(占有)】と【ネット認証ライセンス(LAN)】を併用</p> <p>[ネット認証] - [占有モード+LANモード]を選択</p> 
<p>【ネット認証ライセンス(共有)】を使用</p> <p>[ネット認証] - [共有モード]を選択</p> 	<p>【ネット認証ライセンス(LAN)】を使用する場合は、[サーバー名]に、「FCネット認証LAN Server」をインストールしたライセンス管理用サーバーのコンピューター名を入力してください。</p> <p>モードが選択できない場合は、[ネット認証設定]ボタンを押して、ネット認証ライセンスのプロダクトIDを認証してください。</p> 	
<p>【SNS-W】を使用</p> <p>[SNS] - [USBローカル]を選択</p> 	<p>【SNS-LAN-X】を使用</p> <p>[SNS] - [LAN]を選択</p> 	<p>【SNS-W】と【SNS-LAN-X】を併用</p> <p>[SNS] - [USBローカル+LAN]を選択</p> 

【SNS-LAN-X】を使用する場合は、[サーバー名]に【SNS-LAN-X】を装着したライセンス管理用サーバーのコンピューター名を入力してください。また[ポート番号]には、サーバーの「SNS-LAN-X サービスコントロール」の[オプション]で設定されたポート番号を入力してください。(51ページを参照)

Q.3

ネット認証ライセンス(LAN)のライセンス管理について教えてください。

A.3

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」で管理します。

「FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール」は、「ネット認証ライセンス(LAN)」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows11 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
- Windows10 の場合 : Windowsのスタートメニュー
- Windows8.1 の場合 : Windowsのスタート画面の「アプリ画面」

から、「FC ネット認証LAN Server」-「FC ネット認証LAN サービスコントロール」を実行してください。

The screenshot shows the main window of the 'FC ネット認証ライセンス LANモード サービスコントロール' application. It includes fields for 'サーバー名' (Server Name) and 'ユーザーID' (User ID), a table for license information, and control buttons for starting/stopping services and updating licenses. A secondary 'サービス設定' (Service Settings) dialog is also shown, detailing connection protocols and logging options.

[サーバー名]
サーバーのコンピューター名が表示されます。

[ユーザーID]
ネット認証LANのユーザーIDが表示されます。

[ライセンス数]
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

[空きライセンス数]
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

[サービス設定]
接続設定やログファイルを設定します。
[接続]タブ
接続プロトコルを設定します。
[動作ログ]タブ
使用されたアプリケーションの動作状況を記録します。
[使用状況ログ]タブ
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

[ライセンス認証]
プロダクトIDの認証・更新などを行います。

[自動更新設定]
認証の自動更新処理について設定します。

[開始]
サービスを開始します。ネット認証LANを使用する場合は、サービスを開始しておく必要があります。

[停止]
サービスを停止します。

[最新に更新]
空きライセンスなどを最新の情報に更新します。

[サーバー接続ユーザー一覧]
ライセンスを使用しているユーザーを確認します。

[オプション利用ユーザー一覧]
選択したオプションを使用しているユーザーを確認します。

[イベントビューアー]
Windows標準機能の「イベントビューアー」を開きます。ネット認証LANサーバーが動作しないときなど、サポートの応対時に使用します。

- [動作ログ]には、アプリケーションの動作状況が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先フォルダーを設定します。
 2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」のサービスの開始時に、ログの取得が開始されます。
 3. サービスの停止時に、ログファイルが保存されます。ファイル名は、ネット認証LAN動作ログ_(日時).log です。
- [使用状況ログ]には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先フォルダーを設定します（[間隔]と[最大履歴数]は適宜に設定）。
 2. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC ネット認証ライセンスLANモード サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル(ログファイル名+日付)で残され、新たなログの取得が開始されます。
- ネット認証の「占有」と「LAN」を併用した場合、「占有」のライセンスが優先して使用されます。

Q.4

USBプロテクト【SNS-LAN-X】のライセンス管理について教えてください。

A.4

ライセンス管理用のサーバーにインストールされる、「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」で管理します。

「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」は、「USBプロテクト【SNS-LAN-X】」のライセンス情報の確認や、サービスの開始や停止をおこなうことができます。

— 起動方法 —

- Windows11 の場合 : Windowsのスタートメニューの「すべてのアプリ」
- Windows10 の場合 : Windowsのスタートメニュー
- Windows8.1 の場合 : Windowsのスタート画面の「アプリ画面」

から、「FC SNS-LAN-X Server」-「FC SNS-LAN-Xサービスコントローラ」を実行してください。

The screenshot shows the main window of the 'FC SNS-LAN-X サービスコントロール' application. It features a 'サーバ' (Server) field, a 'ユーザーID' (User ID) field, and a table with columns for 'アプリケーション' (Application), 'オプション' (Option), 'ライセンス数' (License Count), and '空きライセンス数' (Available License Count). On the right side, there are buttons for '開始(S)' (Start), '停止(D)' (Stop), '更新(P)' (Update), '接続ユーザー(L)' (Connect User), and 'ウォッチ(W)' (Watch). Below the main window is an 'オプション' (Option) dialog box with a '接続' (Connect) tab and a '使用状況ログ' (Usage Log) tab. The 'ポート番号' (Port Number) is set to 5093.

[サーバ]
SNS-LAN-Xプロテクトが接続されているコンピューター名が表示されます。

[ユーザーID]
SNS-LAN-XプロテクトのユーザーIDが表示されます。

[ライセンス数]
同時使用が可能なライセンス数が表示されます。

[空きライセンス数]
現在使用可能な残りのライセンス数が表示されます。

[開始] ボタン
サービスを開始します。SNS-LAN-Xプロテクトを使用する場合は、サービスが開始されている必要があります。

[停止] ボタン
サービスを停止します。

[更新] ボタン
表示されている情報を最新に更新します。

[接続ユーザー] ボタン
選択したアプリケーションを使用しているユーザーを確認します。

[オプション] ボタン
接続設定やログファイルを設定します。

[接続] タブ
接続で使用するポート番号を設定します。

[使用状況ログ]
使用されたアプリケーションの記録を定期的に残します。

- [ポート番号]の初期値は「5093」です。接続に問題がある場合のみ、変更してください。変更した場合は、プログラム側のプロテクト設定のポート番号も合わせる必要があります。
- [使用状況ログ]には、「何時何分の」「ライセンスの空き状況」が記録されます。使用するには、
 1. [ログの出力]チェックボックスをオンにし、[パス]にログファイルの出力先を設定。([間隔]と[最大履歴数]は適宜に設定)
 2. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」が表示されている状態で、ログの取得が開始されます。
 3. 「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を閉じると、ログファイルが保存されます。
 4. 再度「FC SNS-LAN-X サービスコントロール」を起動すると、前のログファイルは別ファイル(ログファイル名+日付)で残され、新たなログの取得が開始されます。
- USBローカルとLANのプロテクトの2種類を併用した場合、USBローカルのライセンスが優先して使用されます。

Q.5

「FCアカウント」では何ができるのでしょうか？ 使い方を教えてください。

A.5

「FCアカウント」では、下記をはじめとした様々な機能がお使いいただけます。

・製品のアップデート

CAD製品のアップデートプログラムの提供やライセンスの更新、再セットアップ用ファイルのご提供などにご利用いただけます。

・保守サポートサービスのご利用

保守サポートサービス「FCメンバーシップ」のご契約情報確認・各種手続き・ご契約特典などの様々な機能をご利用いただけます。

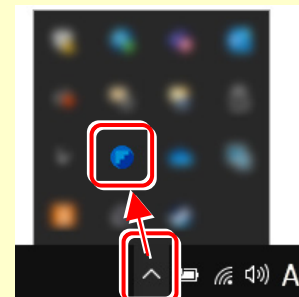
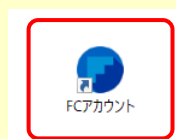


※ すべての機能を利用するには、インターネット接続環境が必要です。

※ 画面は予告なく変更される場合がございます。

「FCアカウント」を起動させるには

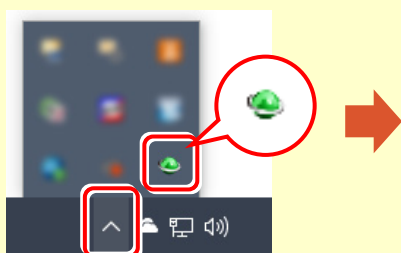
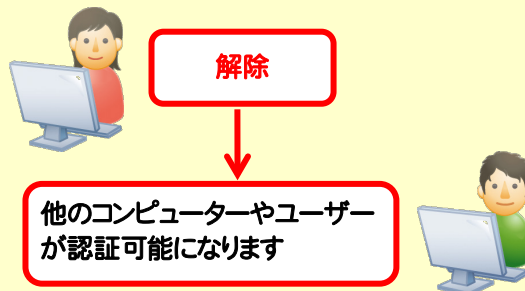
デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCアカウント」を起動します。



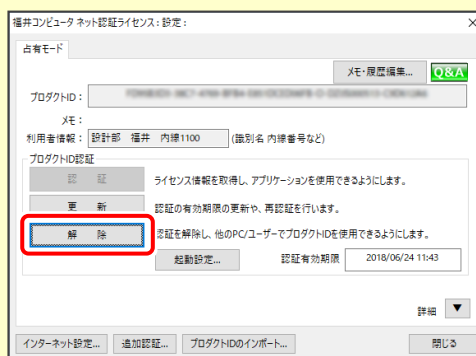
〔補足〕 ネット認証(占有)の解除方法

同じネット認証ライセンス(占有)のプロダクトIDを、他のユーザーまたは他のコンピューターで使用したい場合は、ネット認証を解除する必要があります。

手動でネット認証ライセンスを解除する場合は、以下の手順で解除してください。



画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動します。

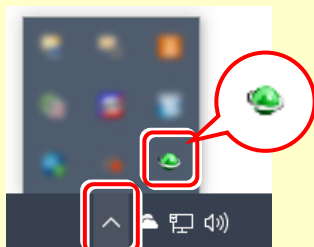


ネット認証ライセンスの設定画面が表示されます。
〔解除〕を押すとネット認証が解除されます。

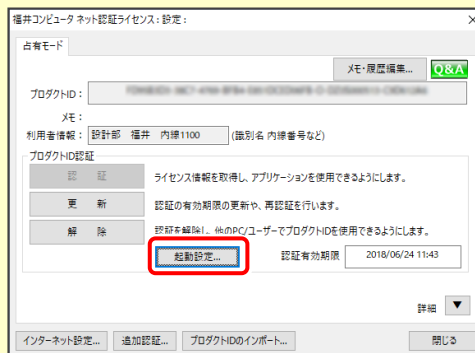
【補足】 ネット認証(占有)の自動認証/解除の設定方法

現在設定されているネット認証ライセンス(占有)の自動解除と自動認証の設定を変更したい場合は、以下の方法で設定を変更します。

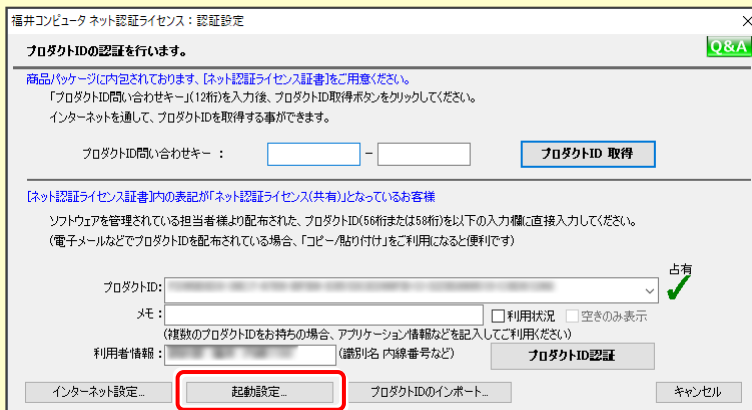
画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FCネット認証ライセンスセンター」を起動します。



「起動設定」を押します。



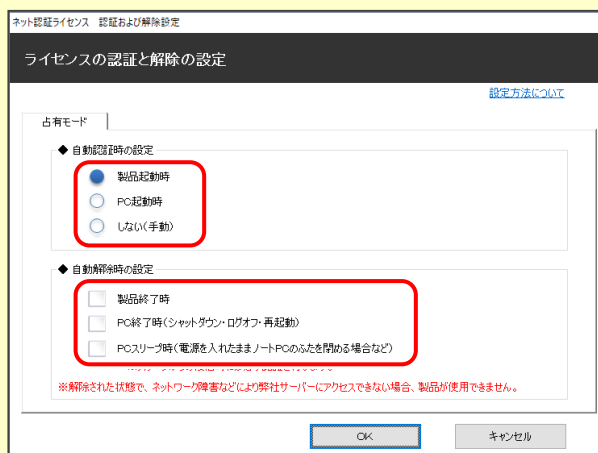
または



「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を変更します。変更後、[OK] ボタンを押してください。

注意： ネット認証の際には、インターネットに接続されている必要があります。

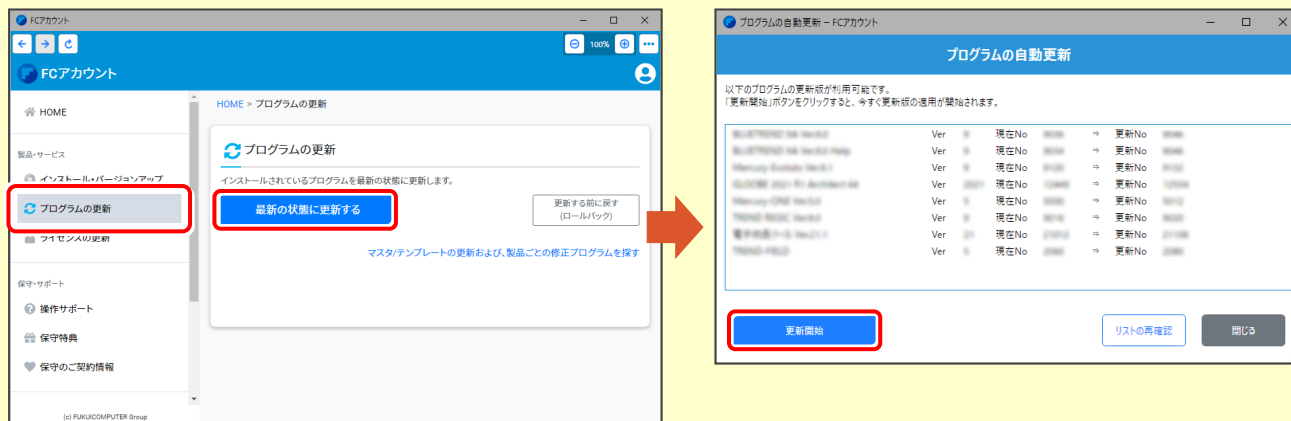
インターネットに接続できない現場などに持ち出す場合は、自動解除を設定しないでください。(すべてのチェックをOFF)
また現場に持ち出す場合は、事前にネット認証を済ませておいてください。



[補足] FCアカウントの「プログラムの更新」について

FCアカウントの「プログラム更新」を利用すると、ご利用中のプログラムを最新のプログラムに自動更新することができます。

※「プログラム更新」では、プログラムのバージョンアップはおこなえません。



[補足] プログラムのバージョンアップは、FCアカウントからおこないます

新しいバージョンのプログラムが発売された場合、プログラムのバージョンアップは、FCアカウントの「インストール・バージョンアップ」からおこないます。

表示される画面にしたがって、「ライセンスの更新」と「最新版プログラムのインストール」をおこなってください。

